

「JENESYS2023」日本大学生訪中国の記録

1. プログラム概要

【目的】本事業は、中国日本友好協会の招聘に応じて大学生・大学院生を中国に派遣し、「中国とのふれあい」をテーマに、大学訪問やテーマに関する視察・交流等を通じて同世代交流を行うことで、両国の若者の間に友情を醸成し、相互理解の更なる深化を目的として実施しました。

【参加者】日本の大学生・大学院生 44 名

【訪問地】北京市、山東省、上海市

【日程】

■ プレプログラム（2 回）

2023 年 9 月 14 日（木） 第 1 回オンライン事前オリエンテーション

2023 年 11 月 16 日（木） 第 2 回オンライン事前オリエンテーション

■ 派遣プログラム

2023 年 11 月 26 日（日）～12 月 2 日（土）6 泊 7 日

日にち	概要
9 月 14 日 1. プレプログラム	【第 1 回オンライン事前オリエンテーション】 ①主催者代表挨拶 ②事業趣旨・概要説明 ③ビザ取得に関する説明 ④会館に提出する書類の説明 ⑤質疑応答 ⑥グループワーク（自己紹介・リーダー決定）
11 月 16 日 2. プレプログラム	【第 2 回オンライン事前オリエンテーション】 ①開会・本日の流れ ②外務省講演「中国事情と最近の日中関係」 ③日程・準備事項・注意事項等説明 ④出発・帰国時の手続き・注意事項について ⑤質疑応答 ⑥グループワーク（役割分担・連絡確認）
1 日目 11 月 26 日	北京首都国際空港より中国入国

2 日目 11 月 27 日	世界遺産万里の長城（居庸関）参観 【中国人民大学訪問】 ①中国人民大学博物館見学 ②中国人民大学副学長挨拶 ③訪中団団長挨拶 ④日中大学生によるパフォーマンス ⑤グループディスカッション・発表 【歓迎会】
3 日目 11 月 28 日	山東省へ移動 【山東大学訪問】 ①山東大学博物館見学 ②山東大学党委員会副書記挨拶 ③在青島日本国総領事挨拶 ④訪中団団長挨拶 ⑤模擬授業「民俗から見る中日文化交流」 ⑥夕食交流会
4 日目 11 月 29 日	超然楼参観 山東手造展示体験センター視察 済南市高新区ソフトウェア産業園人工知能イノベーションセンター視察
5 日目 11 月 30 日	世界遺産孔子府、孔子廟参観 【曲阜師範大学訪問】 ①中国教師博物館見学 ②曲阜師範大学副校長挨拶 ③訪中団団長挨拶 ④文化体験、交流
6 日目 12 月 1 日	上海へ移動 豫園参観 【歓送会】 外灘（バンド）遊覧船参観
7 日目 12 月 2 日	上海城市規劃展示館参観 上海浦東空港より帰国

2. 記録写真

	
2023 年 11 月 27 日【交流】 中国人民大学	2023 年 11 月 28 日【交流】 山東大学にて斎藤憲二在青島日本国総領事が挨拶
	
2023 年 11 月 28 日【交流】 山東大学	2023 年 11 月 28 日【視察】 済南市高新区ソフトウェア産業園人工知能イノベーションセンター
	
2023 年 11 月 30 日【参観】 世界遺産孔子府、孔子廟	2023 年 11 月 30 日【交流】 曲阜師範大学

3. 参加者の感想（抜粋）

◆東京農工大学 学生

4 都市を巡る旅で、中国の歴史と文化、そしてその現代的な発展に触れた。

北京では、壮大な万里の長城の姿を目の当たりにし、中国の古代からの歴史と技術力を感じた。万里の長城は中国の象徴的存在であり、その歴史的価値は世界遺産として広く認められている。あの壮大で巨大な長城を築かなければ抑えられなかった、かつての北方異民族の精強さに実体感を伴って驚愕をした。また、中国人民大学博物館では中国のユニークな歴史に触れ、その多様性と深さに感銘を受けた。特に博物館内の配色のデザインや習近平主席の扱いに日本とは異なる社会主義的なマインドを五感を通して感じる事ができた。

済南では、山東大学で模擬授業を体験し、泰山石敢當のエピソードから日本と中国の長い交流の歴史について学んだ。泰山石敢當は、古代からの重要な文化的シンボルであり、両国の歴史的絆を象徴している。テクノロジーの恩恵を一切受けられなかった 1000 年以上前の昔から定期的な交流があったことから、両国が互いを大変重要な相手だと位置づけ、生命をも危険にさらしても交流する価値がある相手だと見做していた事が伺えた。そうした両国の先人の精神が今の日中関係に繋がっていることに感銘を感じた。

私の中国訪問中、特に印象深かったのは曲阜の訪問だった。ここでのハイライトは Huawei の展示施設での体験。半導体エンジニアを目指す私にとって、中国がいかに高度なテクノロジーを発展させているかを目の当たりにする貴重な機会だった。展示施設では、中国の最新のナノテクノロジー技術をはじめ、通信技術についても多くが展示されており、その先進性と革新的なアプローチに深く感銘を受けた。特にビッグデータの取り扱いの点に関して、中国は世界に対して優位性を持っており、それを活かした HCT のテクノロジーなどが目立っていた。独自路線を行く中国がこの先世界を牽引しうるのかを含めて、世界のテクノロジーの潮流により一層興味を持つきっかけとなった。

上海の訪問では、その急速な発展とダイナミズムに驚いた。わずか数十年で農村から現代の巨大都市に変わった上海は、中国の経済成長と都市化の代表例であり、その変貌は驚異的だ。特に外灘の遊覧船から見た夜景は、私がこれまで見たどの夜景よりも綺麗びやかで、この国の人々が持つ情熱を象徴していると最後に感じる事ができた。

この旅を通して、日本ではなかなか伝えられない中国のポジティブな側面に触れ、日中関係のさらなる発展に貢献することの重要性を実感した。歴史を学び、文化を体験し、中国という国の多面性を理解することで、両国の共通点を認識し、差異を尊重することが、より良い未来への架け橋となると確信している。

◆お茶の水女子大学 学生

中国での 7 日間は夢のような時間でした。一日一日が濃密で 3 ヶ月くらい滞在していた感じがしますが、本当にあっという間でした。この 7 日間で言葉では言い表せないくらいの感動を何度も味わいました。中国の歴史や文化に触れ、志高い現地の学生とたくさん交流し、実際の中国というものを自身で体感できて嬉しかったです。みなさんが何度もおっしゃっていましたが、本当に「百聞は一見にしかず」の言葉に尽きます。正直中国に実際に行くまでは、中国に対してそこ

まで良いイメージを抱いていませんでした。中国に行ったことも中国人の友人がいるわけでもないのに、メディアの情報を鵜呑みにして勝手な中国像を自分の中に作っていました。けれども今は違います。もちろん文化の違いも感じましたし、それゆえ慣れないことも多かったです。でも私が実際に見た中国は、長い歴史を大切にしつつ、よりよい未来に向かって工夫を繰り返して進化していく、エネルギー豊かな国でした。また、現地の方々も温かく迎えてくださりとても安心しました。店員の方々やホテルのスタッフの方々、タクシーの運転手の方々と話す機会が何度もありましたが、そのたびに優しく親切に接してくださいました。日本から来たと伝ええると、温かい笑顔で「欢迎！你好！」と言ってくださったのがすごく印象的で嬉しかったです。現地の学生も本当に素晴らしい方々で友人になれたことを光栄に思います。現地の学生の方々の学ぶことに対する意欲や厳しい入学選考を通してきた誇り、勉学への責任というものを感じ、刺激を受け私ももっと勉強を頑張りたいと思いました。いつか必ず、彼らにまた会いたいです。

これらの交流を通して感じたことは、笑顔で相手に誠実に向き合うことの大切さです。日本人だから、中国人だから、といった区別ではなく、誰と接するときでも相手のことを思いやり、思いを伝えようとすれば国籍など多少の違いはあっても心は繋がるのだと思いました。相手をよく知るには対話が一番大切だと思います。第三者からの情報で先入観を持つのではなく、自分が実際に見たり感じたりしたことを一番強く信じるべきだと思います。

そして私にとって訪中団のメンバーと出会えたことが何よりも幸せなことです。対面で会ったこともなく、年上の方ばかりで1週間も過ごせるか不安でたまらなかったのですが、そのような思いはすぐに消えました。本当に優しくて素晴らしい方ばかりだったからです。夢や目標に向かって努力を重ね、様々なことに積極的に取り組み、そして周りの方々へのリスペクトも大切にされる、そんな素敵な方々に出会えたことに感謝しています。これからも大切にしていきたいです。そして私もこれからいろいろなことに挑戦して学んで、みなさんのように積極的で希望に溢れた人になりたいです。学び続けることの楽しさを教えてくださったメンバーの皆さん、本当にありがとうございます。

訪中団で、こんなにも多くのことを学べたことは私の人生のかけがえのない宝物です。素晴らしい経験をありがとうございました。これからもっといろいろな世界を自分の目で確かめてみたいです。

◆国際基督教大学 学生

私が一週間の中国滞在を通して感じたのは、日中の体制の違いです。

初日、北京に到着した際に早速それを感じました。街中に警察車両が配置され、警ら灯を光らせていたからです。今まで民主資本主義国家にしか渡航したことのなかった私は、この時漠然とした恐怖や不安を感じましたが、この認識は滞在を通じて後に変わることになります。

最も印象的であったのは、山東大学での夕食交流会です。隣席したのは山東大学経済学部（注）の学生でしたが、彼は私が着席するや否や「資本主義と共産主義はどちらが優れていると考えるか？」との問いを投げかけてきました。この議論は、私も中国滞在中に誰かに聞いてみたいことだったので、彼の質問を聞いた瞬間私も興奮しました。夕食会の間中ずっと、私たちはこのテーマについて話し込んでいましたが、話しながら私は、日中両国の体制、特に教育の違いを感じました。

私は経済学部生ではありませんが、今まで受けてきた教育の中で「民主主義、資本主義経済は、社会の一員に等しく豊かになる機会を与える」と教えられてきました。だからこそ民主主義や資本主義は専制的な国家体制にかわり、現代の多くの国で採用されているのだ、と。さらに社会主義や共産主義は、歴史を見れば明らかなように、一国家を持続的に支えられない、とも教えられてきました。しかし彼は「資本主義は資本家の搾取から始まる。資本主義経済における私立学校の教育は、社会の格差を縮めるところか拡大させる、悪の根源である」と述べました。私立大学に通う私は、これに対して論理的で、説得力のある反論をすることができませんでした。確かに日本には様々な社会保障制度があり、高等教育に関していえば官民間問わず奨学金制度も多く用意されています。さらに日本経済が獲得した富を、日本政府は様々な形で国際社会に還元・再分配しています。日本の国連安保理常任理事国入りが議論される所以はここにあると思います。しかしこれは、彼を説得するのに十分な材料ではありませんでした。

一方で、彼も私を説得することはできませんでした。彼は「真の共産主義は経済力のある国家でしか成立しえない。だからこそ中国は社会主義市場経済という独自の体制を導入し、経済成長を目指しているのだ。」と語りました。私はこの話を聞いても、中国国内に経済格差がないとも、それがゆくゆく解消されるだろうとも思えませんでした。

私たちがお互いを説得できなかったのは、初めから相手の話を聞こうとしていなかったからではないかと思います。私たちはこれまで20年前後受けてきた教育の中で「洗脳」されていたのだと思います。だからこそ相手の話をはじめから否定的にとらえ、自分の話を押し付けようとしていました。それでは、建設的な議論など到底できるはずがありません。済南での夜を反省した私は、その後の日程ではもっと意識的に中国側参加者の話に耳を傾けるようにしました。そして迎えた出国の時、中日友好協会の方が私に中国の印象を尋ねました。「中国の方の温かみを感じたが、街中に警察車両が多かったところなど、中国に対する漠然とした恐怖をぬぐうことはできなかった」と私は素直に答えました。すると彼は「日本では何か起きたときに警察車両が来る。だからあなたは不安を感じるのです。でも中国では、警察車両がいるからこそ何も起こらない。中国では警察は安全の象徴なのです。」と話してくれました。これほどに、私が西側の体制で育った人間であることを自覚した瞬間はありません。

私と多くの中国人の間には、大きな違いがあることを実感しました。同時に、この隣人について無知なままでは「戦略的互惠関係」などほど遠いと強く感じました。今回の訪中を機に、自分が西側、つまり日本社会の一員であること、そして将来にわたって中華人民共和国という隣人と平和的な関係を望むには、もっとこの国について知らなければならない、と決意を新たにしました次第です。

4. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事等

The second city to visit was 济南. The bullet train we took was very quick and almost same with ones in Japan. We visited Shandon University and met a lot of students whose Japanese is excellent. We also went to a very traditional architecture called 超然楼 next day and we visited the city's industrial district and learned how developed Jinan is in Shandon province at the end of the visit. The view from 71st floor was also amazing. I'll definitely miss Jinan and hope to see students at Shandon University we met again! 收起 	 View insights Boost post 先日、中日友好協会のお招きにより、日本大学生訪中団の一員として北京、清海、曲阜、上海の4都市を訪問させて頂きました。まずは、日中友好会館やJTBの方々を始めとした、今回の訪中に携わってくださった関係者様各位にお礼を申し上げます。全体を通して非常に密度の高いスケジュールを組んで下さり、刺激的で有意義な1週間を過ごすことができましたと感じています。 万里の長城や孔子廟においては、中国が持つ歴史的な多様性を体験させて頂くことができました。毎日の食事では趣向を凝らした料理がふるまわれ、地域ごとに異なった洗練された各地の味を感じることができました。 また、各大学での日本人学生との会話では、彼らと共有する文化的価値観の一致度合いに非常に驚くとともに、教育制度の違いや学習姿勢の違いについて見識を深めることもできました。こうした文化的交流や友好的な交流は長期的な国際関係の一面を改善する手助けに得ると感じます。今回の訪中で出会った中国での友人も私のかけがえのない財産となるでしょう。 同時に、私には台湾に住む友人も多くおり、彼らの境遇を考えると、ジレンマに悩む覚悟があります。平和的かつ早急に彼らの問題が解決されることを心から祈っています。
2023 年 11 月 29 日（団員の SNS） 済南市高新区ソフトウェア産業園を訪れ、済南市がどのように開発されたかを学ぶことができた。	2023 年 12 月 4 日（団員の SNS） 中国大学生と交流して、共有する文化的価値観の一致度合いに驚き、教育制度や学習姿勢の違いについて見識を深めることができた。
 他 北京—济南—曲阜—上海 美味しい中華料理と素敵なホテルを満喫し、現地の大学生や日本の様々な大学の大学生と交流ができ、普通の旅行なら行かない観光地や万里の長城などの観光地訪問等、大大大充実の1週間でした	Got back home safely 🇯🇵 I've been dreaming to go to China for my whole life, every single moment I spent there was just incredible. Id like to thank everyone who made my journey even more amazing ❤️ 我每天想你，中国 🇨🇳 
2023 年 12 月 5 日（団員の SNS） 普通の観光旅行では行けないところに行くことができた。	2023 年 12 月 5 日（団員の SNS） 訪中でできて素晴らしい思い出になった。

亲爱的中国朋友 非常感谢大家。 我真的很享受在中国的一周。 每个人都善良，我很开心。 多亏了你们所有人，我更加爱上了中国。 我很想再去。 我很高兴我和你们所有人交了朋友。 我绝对希望有一天能再见到你！ 来日本的时候请告诉我 😊 我爱你们 穂果 Honoka 私の中国語はたくさん間違っていると思います...ごめんなさい🙏これから中国語の勉強もっと頑張ります！ 閉じる 	
2023 年 12 月 8 日（団員の SNS） 中国で出会った人みんなと友達になったので、いつか必ず再会したい。	2023 年 12 月 10 日（団員の SNS） 大学で学んだ中国語が伝わった喜び、仲良くなった中国大学生と帰国後も連絡を取っている。
	
2023 年 12 月 10 日（団員の SNS） 1 人や 1 つの事件で国全体のイメージを決めてはいけないと感じた。	2023 年 12 月 18 日（独立行政法人国際協力機構） 団員がインターン先の国際協力機構（JICA）にて、訪中国の報告会を行い、中国での交流体験や実際に見たインフラ発展状況などを紹介しました。オンラインを含めて 25 名以上の参加がありました。

日本大学生代表团来我区参观交流



11月29日，日本大学生代表团一行50人来到我区参观交流。
代表团一行来到山东手造展示体验中心，欣赏了济南皮影、淄博陶瓷琉璃、潍坊风筝等山东省16个地市的手造工艺品。亲身体验了中华优秀传统文化的魅力，代表团成员对这些具有中国特色的手工艺品表现出浓厚的兴趣，纷纷表示对中华优秀传统文化有了新的了解和认识，期待以后能有更多机会来中国参观交流，近距离了解中国的文化和发展。
历下控股集团、区外办相关负责同志参加活动。（区政府办公室）

林海滨会见日本大学生代表团团长一行

山东外事 2023-11-29 18:42 发布于山东



11月29日，省委外办副主任林海滨在济南会见率领日本大学生代表团访问山东的日中友好会馆常务理事海老原宏明一行。
林海滨欢迎代表团来访，积极评价日中友好会馆为推动中日文化交流、促进两国关系发展所作的贡献。双方就增强在青少年等领域交流合作等交换了意见。
代表团由来自日本23所大学的44名学生组成，于28日自北京抵达济南，在鲁期间将访问山东大学和曲阜师范大学及中外青少年交流基地，与师生开展交流，增进鲁日青年之间的了解和友谊。代表团还将访问高新区、山东手造体验馆等，深入了解山东的经济社会发展情况。
来源：政协秘书处

2023 年 11 月 29 日（济南市歷下区人民政府ホームページ）

「日本大学生訪中団が来区し参観・交流した」
山東手造展示体験センターで済南市の影絵や淄博市の陶磁瑠璃、潍坊市の凧等、16 都市の手工芸品を鑑賞し、伝統文化の魅力を体験した。

2023 年 11 月 29 日（山東省外事弁公室 微信）

「林海浜氏日本大学生訪中団団長一行と会見」
林海浜氏は日本大学生訪中団を歓迎し、日中友好会館が中日文化交流を行い、両国関係発展へ貢献していることを評価し、青少年交流での協力を継続・強化することについて意見交換した。

林海滨会见日本大学生代表团团长一行

来源: 2023-11-30 13:22

【来源：山东省委外事办公室工作日志】

11月29日，省委外办副主任林海滨在济南会见率领日本大学生代表团访问山东的日中友好会馆常务理事海老原宏明一行。



林海滨欢迎代表团来访，积极评价日中友好会馆为推动中日文化交流、促进两国关系发展所作的贡献。双方就增强在青少年等领域交流合作等交换了意见。

代表团由来自日本23所大学的44名学生组成，于28日自北京抵达济南，在鲁期间将访问山东大学和曲阜师范大学及中外青少年交流基地，与师生开展交流，增进鲁日青年之间的了解和友谊。代表团还将访问高新区、山东手造体验馆等，深入了解山东的经济社会发展情况。

日本大学生代表团访问山东大学

发布日期: 2023年11月30日 18:34 点击浏览: 555

【本站讯】11月28日，应中国人民对外友好协会邀请，日中友好会馆常务理事海老原宏明率日本大学生代表团访问山东大学，日本驻青岛总领事藤宪二一同来访，山东大学党委书记王君松会见了日本驻青岛总领事一行。



会见中，王君松介绍了山东大学发展近况，重点分享了山东大学对日合作交流成果，并以“亚洲校园”“樱花计划”等中日学生培养项目为例，希望进一步加深中日两国学生交流，使两国青年真正成长为推动中日两国友好往来的使者。

海老原宏明对山东大学在对日交流方面取得的成就表示赞赏，他表示，加强中日青年交流对两国长远合作具有深远意义，希望山东大学在中日教育合作和青年交流中继续发挥领头羊作用，服务中日友好关系再上新台阶。

本次大学生代表团由来自山东大学、清华大学等24所日本大学的44名日本大学生组成，来鲁期间，日本大学生与山东大学师生上课，共同聆听了董学南等研究院研究员和董学南的“民间视野下的中日文化交流”专题报告，并与外国语学院、经济学院、哲学与社会发展学院、艺术学院、儒学高等研究院等单位师生进行交流互动。代表团一行还参观了山东大学博物馆。

2023 年 11 月 30 日（九派教育）

「林海浜氏日本大学生訪中団団長一行と会見」
訪中団は 28 日に済南に到着し、同地滞在中は山東大学や曲阜師範大学と中外青少年交流基地を訪れ、講師・学生と交流して友情を深める予定。

2023 年 11 月 30 日（山東大学新聞網）

「日本大学生訪中団が山東大学を訪問」
海老原宏明日中友好会館常務理事率いる日本大学生訪中団と斎藤憲二駐青島日本国総領事が来訪した。王君松山東大学党委員会副書記は青島総領事一行と会見した。

日中大学生交流活动（JENESYS2023）在山东大学举办

发布时间：2023-12-02 人气：25 作者：友好国际

11月28日下午，作为日中友好会馆“JENESYS2023”项目的一部分，日中大学生访问团访问山东，并与山东大学学生进行交流。“JENESYS2023”是由日本政府主导，以外国青少年为对象，增进其对日本理解的项目。本次访问团由来自日本22个大学的学生组成，受中日友好协会的邀请，计划访问北京、山东和上海。

受邀参加交流会的东静总领事在致辞中表示，希望两国大学生通过交流加深对彼此的理解，感受彼此间心灵的共鸣。

交流会开始前，东静总领事与山东大学王君松副书记举行会谈，就该校在青少年、学术等方面的对日交流交换意见。



日本大学生代表团访华

时间：2023-12-02 撰稿人：东亚部一处 打印 字号：大 中 小

11月26日至12月2日，应我馆邀请，以日本日中友好会常务理事长海老原宏明为团长的日本大学生代表团一行49人访问北京、山东、上海等地。我馆副馆长、山东省外事办副主任杨海源、上海市友好协会会长傅耀红、中国人民大学副校长叶谦吉、山东大学书记王君松、曲阜师范大学副校长李瑞祥以及日本驻华使馆文化参赞田村博人、日本驻华总领事斋藤隆一分别由南都相夫陪同。

代表团团长在日本大学生代表团成立会上表示，代表团在日中和平友好条约缔结45周年之际来华访问交流具有重要意义。“百闻不如一见”，希望日本大学生们在访问中用心体会古老而现代的中国，主动与中国青年交流，结交朋友，收获友谊，将来积极投身中日友好事业，为中日关系的健康稳定发展贡献青年的智慧和力量。



访华期间，代表团先后赴中国人民大学、山东大学、曲阜师范大学访问交流。中日大学生通过同行同食、小组讨论、参观校园、成果汇报等深入交流，增进了彼此理解，结下了友好情谊。此外，代表团聆听了山东大学老师所做的中日文化交流专题讲座，参观了新建大长堤、孔府孔庙、上海豫园，体验了古代“六艺”和汉服等中国传统文化，并走进济南高新区展示中心、山东手造体验馆、上海城市展览馆等，感悟上海精神，感受中国优秀传统文化底蕴和现代经济社会发展成就。

代表团由来自日本关东地区23所高校的大学生组成，绝大多数为首次访华。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

2023 年 12 月 2 日（東京友好国際(株)ホームページ）

「日中大学生の交流活動（JENESYS2023）山東大学で実施」

日本大学生訪中団が山東大学学生と交流した。「JENESYS2023」は日本政府が推進する海外青少年を対象とした対日理解促進プロジェクト。今回は、北京、山東、上海を訪問予定。

2023 年 12 月 2 日（中国人民对外友好協会ホームページ）

「日本大学生訪中団が中国を訪問」

11/26-12/2 で、日本の日中友好会館の海老原常務理事を団長とする日本大学生訪中団一行 49 名を、当協会が招聘し、北京、山東、上海を訪問した。

日本大学生代表团访问山东

4 处发布 2023-12-04 18:40 浏览 12 次

11月26日至12月1日，由中日友好协会邀请，以日本友好会常务理事长海老原宏明为团长的日本大学生代表团一行49人访问山东。



代表团团长在日本大学生代表团成立会上表示，代表团在日中和平友好条约缔结45周年之际来华访问交流具有重要意义。“百闻不如一见”，希望日本大学生们在访问中用心体会古老而现代的中国，主动与中国青年交流，结交朋友，收获友谊，将来积极投身中日友好事业，为中日关系的健康稳定发展贡献青年的智慧和力量。

代表团由来自日本关东地区23所高校的大学生组成，绝大多数为首次访华。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

此次是我会2023年中日青少年交流项目系列活动之一。

日本大学生代表团访问山东

山东省外事办公室
2023-12-04 18:40:40

原标题：日本大学生代表团访问山东

来源：友协秘书处

11月28日至12月1日，由中日友好协会邀请，以日本友好会常务理事长海老原宏明为团长的日本大学生代表团一行49人访问山东。

来自东京大学等23所日本高校的44名大学生，分别访问山东大学、曲阜师范大学中外青少年交流基地，听取中日文化交流讲座、体验山东传统文化，并与当地大学生交流互动。代表团还实地参观了济南市高新区展厅、人工智能大厦、山东手造展示体验馆和世界文化遗产曲阜三孔等地。

代表团成员表示，今年是中日和平友好条约缔结45周年，和平友好是两国人民的共同心声，能够亲自来中国、到山东走一走、看一看，并和山东的大学生交朋友，意义非凡。此行感受到了山东人民的热情好客和齐鲁文化的历史悠久，回国后要感受体验分享给更多对中国感兴趣的日本朋友。

来源：友协秘书处

2023 年 12 月 4 日（山東省外事弁公室 微信）

「日本大学生訪中団が山東を訪問」

東京大学など 23 大学の 44 名の学生は、山東大学や曲阜師範大学中外青少年交流基地を訪れ、中日文化交流の講義、山東伝統文化体験、現地大学生との交流に参加した。

2023 年 12 月 4 日（山東省外事弁公室ホームページ）

「日本大学生訪中団が山東を訪問」

団員は「今年は日中平和条約締結 45 周年にあたり、平和と友好は両国国民共通の願いだ。山東省の大学生と友達になれたことは得難い体験で、山東の人々の温かいもてなしと文化・歴史の奥深さを感じた。この経験を帰国後に友達と共有したい」と話した。

5. 報告会での訪中成果とアクション・プラン発表



【訪中中の学び】

イメージを固持するが故に生まれる軋轢が現実には多くあるのではないかとと思いますが、実際に中国に行き人と交流することで、自分の中の中国へのイメージを新たにすることができたと感じています。

【アクション・プラン】

「自分が持っているイメージを尊重しつつ、常にそのイメージを新しくする」という今回の研修で学んだことは、中国研究に限らず多岐にわたり応用していける基本的な観念です。帰国後、大学の授業でもそれを意識していきたいです。



【訪中中の学び】

In taking this plan, having experienced face-to-face exchanges with students was very unique and rewarding. For me, as a student specializing in international politics and security, and having only known China as an actor in the international politics, I feel that it was meaningful to talk with people who live in China and have interests in Japan.

【アクション・プラン】

On top of these experiences here, as an action plan, I will make continuous effort of trying to determine the true nature of what I see. I am determined to continue to dive into new environments and, of course, I would like to take care of what I see with a broader perspective and my own opinions.

	
【訪中中の学び】 もっと両国が互いに想う気持ちを伝えることで、日本と中国の関係を深めることができるのではないかと考えました。 【アクション・プラン】 今回の訪中で学んだことを帰国後、日中学生会議で実行委員として、中国の方々との対話を大切に政府や企業を相手としてこれからの日本と中国を考えていきたいです。	【訪中中の学び】 文化的なパフォーマンスを通して中国大学生と仲良くなったことで、文化を通して相手がどのような考えを持っているか、感じているかを知ることができるということを学びました。 【アクション・プラン】 中国語を学ぶと同時に、WECHAT で日本の生活を紹介していきたいです。
	
【訪中中の学び】 中国へのイメージが変わりました。中国人は情熱的で本当に優しいと気づきました。 【アクション・プラン】 中国の魅力を近しい人に紹介したいです。今回の訪中で、中国に留学する決意が固まりました。今後、多くの中国の友人を作りたいです。	

実施団体名：（公財）日中友好会館